

かげやま公園

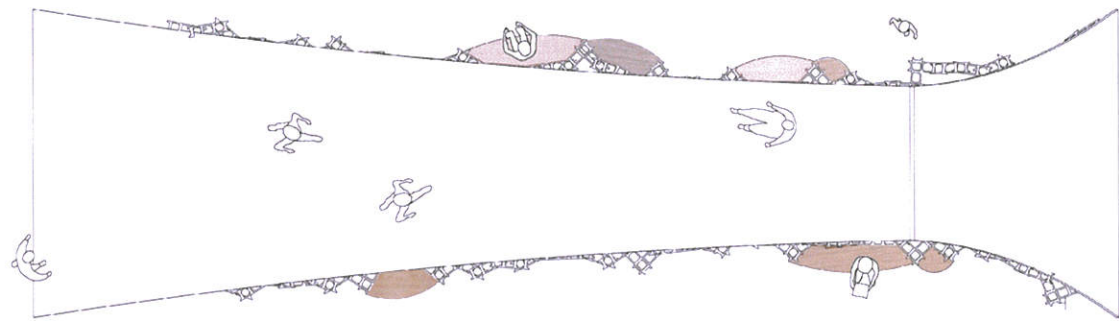


Story

ブロック塀
↓
「内」と「外」を隔てるもの
↓
どこか「く」もあり
どこか「流」的で「親」しみがあるもの
↓
冷たいものは光を通して暖かくし
親しみやすさは子供たちの安心へ
↓
ここは子供も
その親も
地域の人も
みんなが憩う
↓
『かげやま公園』

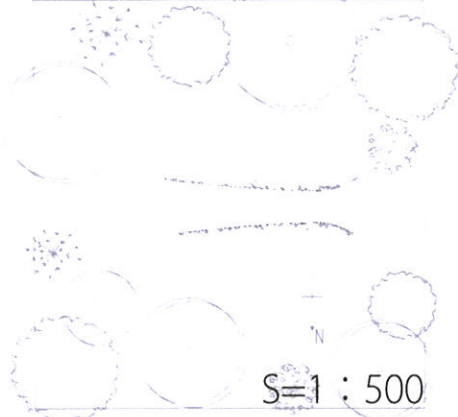
Concept

コンクリートブロックが持つ特徴から、何か特別な憩いの空間を造りだせないだろうか。
「どこか冷たく、どこか親しみのあるもの」その特徴をうまく利用し、今回の『かげやま公園』を設計した。
設計するにあたって、まずは内と外を隔てないブロックの積み方を考えた。その答えは、光の取り入れ方を工夫することで解決した。自然の光を壁から不規則に落とし込むことで、人は自然の中にいるような安心感を持つことができる。しかし、コンクリートブロックの壁はどこか威圧感がある。それを包むように緩やかなカーブの屋根をかけ、全体のバランスをとることにした。その結果、コンクリートブロックの壁も、緩やかなカーブの屋根も、小さい子供たちの遊び場として利用することができる。子供も楽しみ、家族も安心して身守れるのがこの『かげやま公園』。

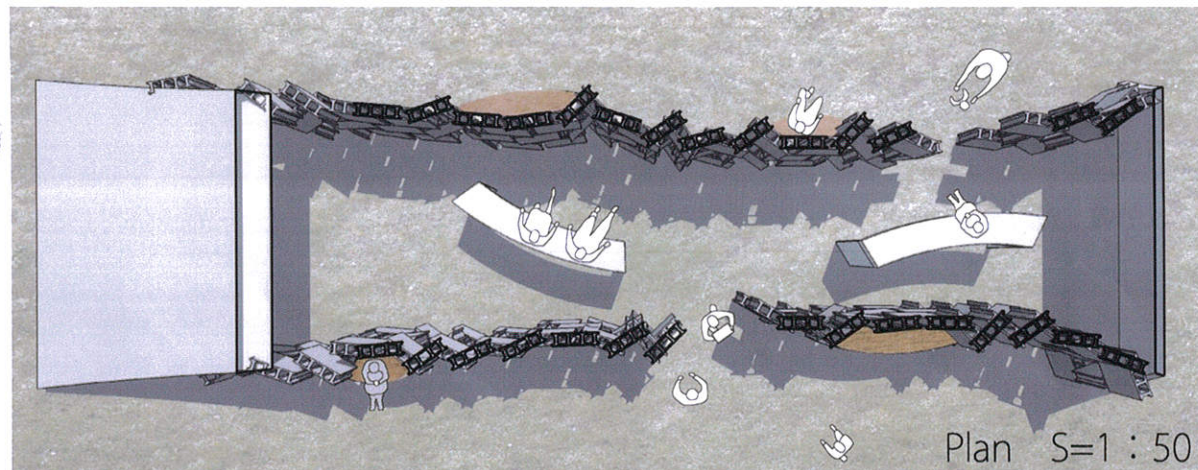


Roof plan S=1:50

Site

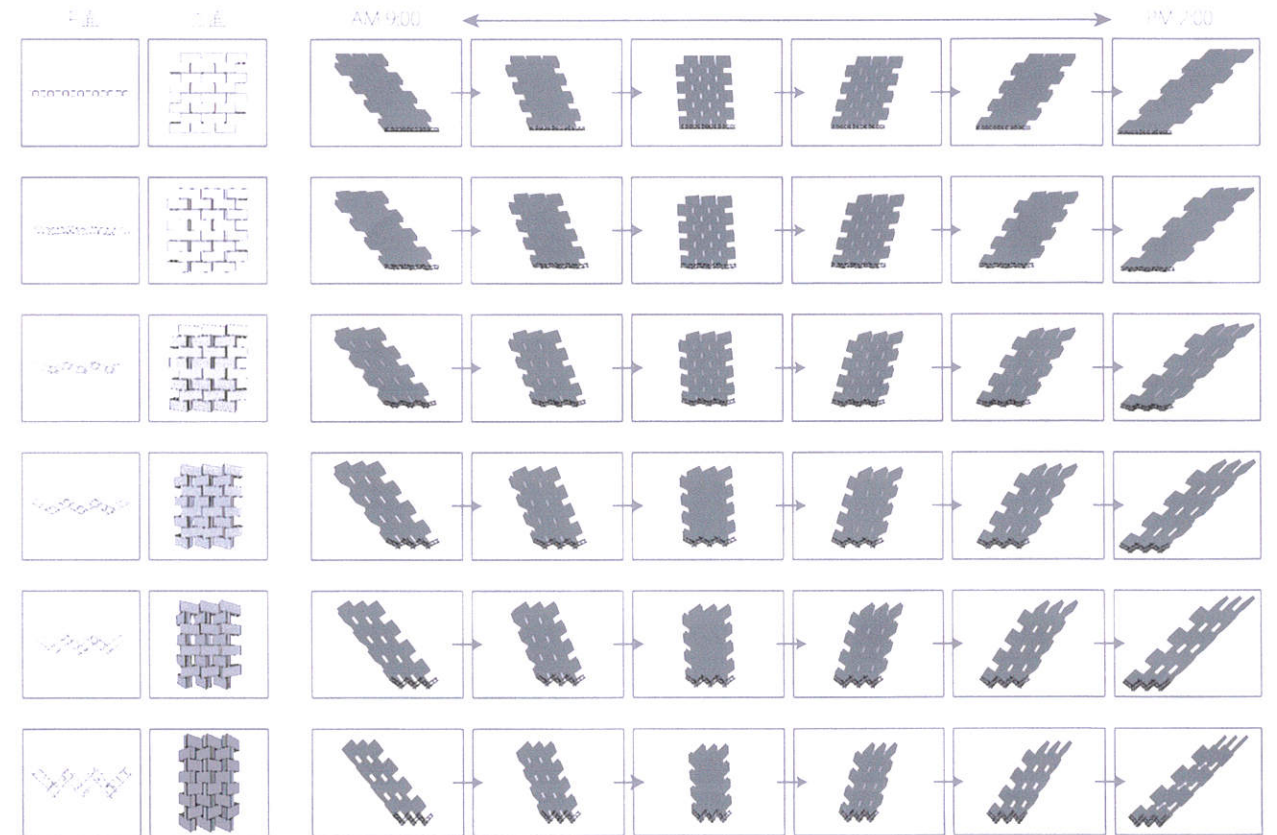


S=1:500

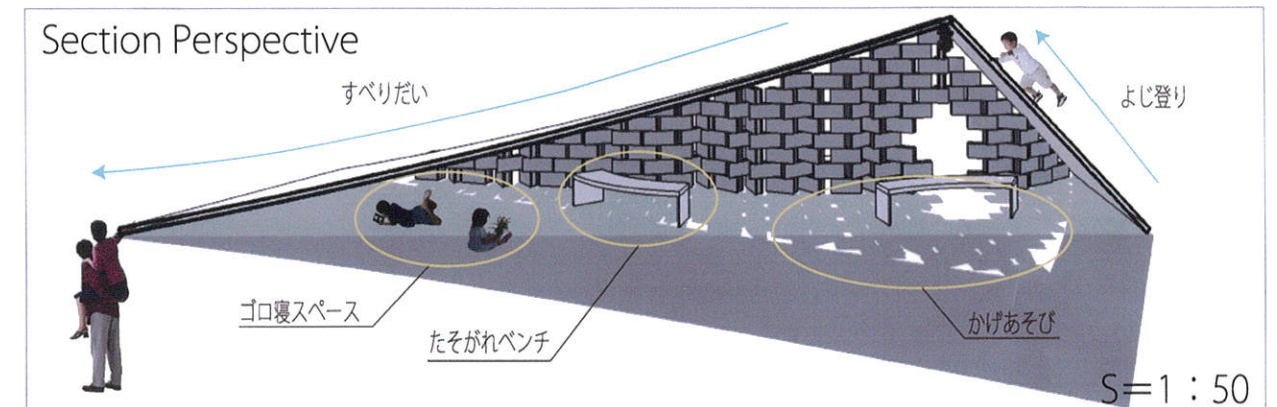


Plan S=1:50

Diagram



Section Perspective



S=1:50